

令和8年9月の住まいのきになる通信



住宅業界、調達力で明暗 資材高騰

大手健闘、中小は倒産増

- *戸建て住宅市場で大手と中小の明暗が鮮明に。
 - *ハウスメーカー大手が受注を伸ばす一方、中小工務店の倒産や休廃業は増加。
 - *中東情勢による資材の調達難が大きな打撃。
 - *大和ハウス工業の4～6月期の売上戸数は前年同期比で7%増加。
 - *飯田グループホールディングスも7%増加。
 - *住友林業も2027年1～6月期の注文住宅の受注棟数は3%増加。
 - *1～6月期に建設業で倒産した件数は前年同期比6%増の1043件。
 - *法的整理を伴わない休廃業や解散も含めると5937件に上り過去最多。
 - *うち新築戸建てなどを担うハウスメーカーや工務店など「木造建築工事」は947件となり、全体の約16%。
 - *資材調達難に加えて、欠陥住宅被害を防ぐため2025年4月から木造2階建て以下の住宅の設計・申請手続きが厳格化されたことが工務店の負担を重くしています。
 - *2025年度の新設住宅着工戸数は2024年度に比べ13%減の711,171戸。
 - *2040年度には61万戸に減ると予測。
 - *人口減少に加え、金利上昇も需要を下押し。
- (2026年8月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

